

## 18 シロエリオオハム (アビ目)

*Gavia pacifica*

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

北海道、本州、九州では冬鳥。兵庫県では主に1-4月に記録がある。かつてはオオハムの一亜種とされていた。主に外海や内海に生息し、稀に内湾、河口、沿岸近くの湖沼などで見られる。潜水して魚類を捕食する。瀬戸内海の一部の島で行われている鳥持網代漁(アビ漁)では、本種がよく利用されている。重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受けることがある。



写真提供: 出口敦司

### 国内分布

北海道、南千島、本州、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(明石市)、(西宮市)、豊岡市、加古川市、(丹波市)、淡路市



### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

古い記録は、全てオオハムとされているため、正確な生息状況は不明であるが、残された標本から、オオハムよりシロエリオオハムの方が多かったと考えられている。近年は極めて稀に沿岸で記録される程度に過ぎない。海上での生息状況は不明である。

### 保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要であるほか、生息海域の海洋環境の保全が重要。また、漁網やはえ縄などによる捕獲の被害に遭うことがあるので、地域によっては漁業者との調整が必要。